

朗読会 納涼。雪景色のある不思議な話

日時：8月26日（土） 14:00～15:00

1. 「笠地蔵」 昔ばなし、

雪の日に笠を売りに街にでかけたものの売れず蔵に笠をかぶせてあげたやさしいおじいさん。すると翌朝不思議なことが。

2. 「雪女」 小泉八雲 作

誰もがよく知る怪談話。大雪の日に、川のそばの小屋で不思議な体験をした男。その後、美しいお雪という女と出あい、家族となり子どもさずかるが、ある雪の晩に、川のそばで出会った女の話の思い出す。決してこのことを話すなと言われていたのだが。

3. 「^{かじかざわ}鰻沢」 落語・三遊亭円朝

父親の骨を身延山に納めるため、参詣かたがたはるばる江戸から鰻沢までやってきた新助。山中で大雪となり、日も暮れてきたので道に迷って、お題目を唱えながらさまよううち、遠くに人家の灯、生き返った心地で宿を乞う。出てきたのは、田舎にまれな美しい女。そこで不思議な再会。寒さから玉子酒をいただき疲れも手伝ってうとうとしたところ、大変なことに。雪景色の描写も美しい、三遊亭円朝作の人情噺です。

語り手：朗読の森 岡崎 ちか子
千種 佐智子・嶋垣 泉・福谷 紀美子

場所：しのぎ文化プラザ 3階講義室

定員：40名（申込順）※中学生以上の方

費用：無料

申込：8月11日（金）14:00～

下記お電話にて受付中です

TEL 03-3676-9071



写真はイメージです。

〔朗読の森〕

朗読の森は江戸川区を中心に活動しています。
朗読、朗読劇を楽しく学びながら、学校、図書館、劇場公演そしてワークショップ開催など多岐にわたり活動。子供から大人まで様々な作品の楽しさを伝えています

しのぎ
文化
プラザ

しのぎ文化プラザ

江戸川区篠崎町 20-19 3F TEL03-3676-9071（代）

都営新宿線篠崎駅西口直結 開館時間 9:00～21:30

